

事業所名		そだちHOUSE				支援プログラム		作成日		R7	年	2	月	1	日
法人（事業所）理念		遊びの中から生まれる育ちに視点をおき、生きる力を培うための生活動作を五感によって刺激しながら楽しく安心して過ごす環境を目的とする。													
支援方針		身体の使い方を知れる粗大運動と手先の活動を行いながら、生活動作の定着を図る微細運動を様々な経験として積み重ねるように活動を工夫しています。													
営業時間			9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無		あり				
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	色々な活動を通して、食事、排泄、衣服の着脱、身の周りなどの基本的な生活習慣を身に付けていけるように支援します。													
	運動・感覚	粗大運動などを通して、身体の使い方や体幹の強化を図り姿勢保持につなげていけるように支援します。ボールプール、小麦粉粘土、スライムなどの感覚遊びを通して、様々な感触のものに触れ、操作しボディーイメージづくりや操作の向上を目指します。													
	認知・行動	手先遊びや道具の操作、カード、かるた、パズル、文字活動など小集団や個別で対応していきながら、認知面の向上を図っていきます。													
	言語コミュニケーション	人前での発表や口腔運動などの活動を通して、語彙力の向上や言葉での表現などコミュニケーション力につなげていきます。													
	人間関係社会性	公共の場での集団活動などを通して、成功体験を増やし自信につなげ社会性を身に付けていけるように支援します。													
家族支援		連絡帳や送迎時に利用の様子を伝え、情報共有を行います。また、保護者の方の困り感や相談事など寄り添いに、相談しやすい環境を作っていけるように支援します。							移行支援		関係機関（保育園や相談支援専門員）との連携を図りながらできることを増やし、小集団から大集団生活へ移行できるように支援を行っています。				
地域支援・地域連携		地域のイベントに積極的に参加し、地域住民との連携や交流を深めていきます。							職員の質の向上		専門員が来所し利用児の特性や活動内容などのアドバイスを基に実践、改善を行っています。				
主な行事等		月ごとの誕生会、植物などの苗植え、大根収穫、水遊び、交番見学、避難訓練（消防署立ち合い）、そうめん流し体験、ハロウィン、クリスマス会、夏祭り、季節ごとの製作など													